

秋 町の特産品「赤池梨」
秋を告げる梨のシーズン到来

町の特産品「赤池梨」の出荷・販売が人気品種「幸水」を皮切りに8月上旬から開始されました。今年は5月に遅霜にあった影響で受粉状態が悪く、出荷数が減少していますが、夏場の好天で糖度は十分。今後は「豊水」や「新高」など10月中旬まで秋の味覚を楽しめますが、いずれも数が少ないことが予想されます。みずみずしい梨をお早めにご堪能ください。



↑ 手作業で品質を確かめる様子。お客さんの笑顔を見るため手間を惜しみません。

↓「料理体験が食に関心を持つきっかけになります」と食進会の赤熊敏子会長④。



小 児童センター親子料理教室
小さなコックさん大奮闘

児童センター主催の「親子料理教室」が8月7日に行われ、会場となった町内3か所の保健センターに62人の親子(赤池14組、方城14組、金田10組)が集まりました。今回は目玉焼きハンバーグなど4品のメニューを、福智町食生活改善推進会からの指導を受けながら調理。子どもが一つずつ学び上達する様子を、目を細めながら見守る保護者の姿が印象的でした。

将 中学校で職場体験実施
将来を考えさせられた貴重な体験

進路や目的意識が希薄なまま進学や就職をしてしまう子を少しでも減らそうと、町内3つの中学校が夏休み期間中に職場体験を実施しました。総勢294人の生徒がスー



← 神崎保育所の元気な園児に振り回されながらも、楽しく面倒を見ました(金田中)。

↓ 会場を大爆笑させた劇団 城青会によるコント「10時ごろだよ。全員集合!!」。



得 上弁城六夜待
得意芸で地元を活性化

上弁城地区に伝わる、知る人ぞ知る舞台「上弁城六夜待」が8月21日に開催され、約150人の観客がかけつけました。これは江戸時代から昭和35年ごろまで行われ、平成9年に復活した行事で、今回13回目。今年は日本の伝統芸能である舞踊や太鼓に、劇やダンスなど現代の文化が盛り込まれた22の演目を用意され、地元を笑顔で包む舞台となりました。

↓ 生きることや愛することのすばらしさを、福岡の子ども劇団「パワーキッズ」が迫真の演技で表現。



心 人権ミュージカル「鬼ヶ島」
心を魅了した感動の舞台

「桃太郎」に「浦島太郎」、「さるかに合戦」など昔話のメンバーが続々登場して愉快的歌や踊りを繰り広げた公演「鬼ヶ島」。実はこれ、8月8日に地域交流センターで行われた「人権を考えるミュージカル」なんです。内容は、長い間悪者扱いされてきた鬼たちの立場に立って描かれたもので、権力にとらわれた殿様が鬼たちの生きる姿を見て改心し、心の中に巣くった悪い鬼を退治するという物語。大切なのは人と思ひ合い、認め合うことだという力強いメッセージに、200人からの惜しみない拍手が送られました。

伝 伝統文化こども教室
伝統の工程を踏まえ上野焼の文化を体感

文化庁の助成で子育て連主催による伝統文化こども教室が夏休み期間中に開かれ、方城中美術部の11人が本格的な作陶に挑戦しました。生徒たちは電動ロクロ成形をはじめ、絵付けや削り、釉掛など一連の工程を数回に渡って体験。郷土が誇る上野焼の伝統に触れました。なお、今回の力作は9月29日から10月4日まで陶芸館ギャラリー陶で展示されます。



↑ 上野焼協同組合の青柳理事長の指導を受け、電動ロクロに挑戦する生徒たち。

↓ 約180人が参加した夏祭り、まばゆいねぶたが沿道の声援を受けて進みました。



青 生力ねぶた夏まつり
青森県ゆずりの本格ねぶたを初運行

赤池26区・生力ニュータウン(高橋勝区長)の夏祭りが7月31日に開かれ、初のねぶた運行が催されました。青森県から寄贈を受けた絢爛なねぶたが電飾で映える中、かき氷や焼そば、金魚すくい子ども映画などで集会所は始終大盛況。ねぶた運行で熱気は最高潮に達し、子どもたちの元気な「ラッセーラ」のかけ声に合わせ、地域を誇らしげに練り歩きました。